

防災地域建設委員会資料

- | | | |
|-----|--|-------|
| 1 | 令和7年度 国の施策及び予算編成等に係る重点要望項目の
予算化の状況等について | ……P1 |
| 2 | 報告事項 | |
| (1) | 令和6年度補正予算 国土交通省関係予算の配分について | ……P4 |
| (2) | 県道大社日御碕線の道路崩落に係る本復旧の見通しについて | ……P11 |
| (3) | 山陰道 出雲～多伎間(出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路)の
開通について | ……P14 |

令和7年1月17日

土木部

令和7年度 国の施策及び予算編成等に係る 重点要望項目の予算化の状況等について

令和7年度 当初予算案(R6.12.27閣議決定)における公共事業関係費の概要(国土交通省関係)

1. 基本方針

(基本的な考え方)

○我が国は、長年続いてきたデフレから完全に脱却するチャンスを迎えており、物価上昇が賃金上昇を上回る現状の日本経済を成長型の新たなステージへ移行させ、豊かさと幸せを実感できる持続可能な経済社会を実現していく必要がある。このためには、能登半島地震を始めとする自然災害からの復旧・復興に全力を尽くすとともに、今回の地震等を踏まえた災害対応力の強化、防災・減災、国土強靱化の着実な推進、交通の安全・安心の確保、海上保安能力の強化等により、国民の生命・財産・暮らしを守り抜く必要がある。また、持続的な経済成長に向けて、成長分野への投資を持続的に拡大し、観光立国に向けた取組の推進、賃上げにつながる人への投資、生産性の向上に寄与する戦略的な社会資本整備、DX・GXの推進に加え、地方創生2.0に資する地域活性化の推進、「交通空白」の解消等に向けた地域交通のり・デザインの全面展開等に取り組む必要がある。これらの施策を実現するため、令和7年度予算では、

- ・国民の安全・安心の確保
- ・持続的な経済成長の実現
- ・個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

を柱に、次頁の主要課題をはじめとして、令和6年度補正予算と合わせて切れ目なく取組を進め、施策効果の早期発現を目指す。その際、国土強靱化については、「5か年加速化対策」の着実な推進とともに、継続的・安定的に切れ目なくこれまで以上に必要な事業が着実に進められるよう、令和6年能登半島地震等の経験も踏まえつつ、「国土強靱化実施中期計画」策定に係る検討を最大限加速化し、早急に策定する。

(公共事業の的確な推進)

○社会資本整備は未来への投資であり、ストック効果の最大化に取り組む必要がある。既存施設の計画的な維持管理・更新・利活用を図りながら、上記の3本柱の実現に資する波及効果の大きなプロジェクトを戦略的かつ計画的に展開することが不可欠であり、中長期的な見通しの下、必要かつ十分な公共事業予算の安定的・持続的な確保を図る。その際、近年の資材価格の高騰の影響等を考慮しながら労務費も含め適切な価格転嫁が進むよう促した上で、今後も必要な事業量を確保する。

○また、公共事業の効率的かつ円滑な実施・順調な執行のため、第三次・担い手3法等も踏まえ、施工時期等の平準化や適正価格・工期での契約、国庫債務負担行為の積極的な活用、地域企業の活用に配慮した適正規模での発注等を推進するとともに、新技術の導入や i-Construction2.0 の推進、災害に備えた防災体制の拡充・強化にも取り組む。あわせて、建設資材価格の変動への対応、建設産業における賃上げ等の処遇改善や働き方改革の推進、外国人技能労働者の受入・育成等に取り組む。

2. 公共事業関係費（国費）の規模（前年度補正予算を加算）

7兆1, 879億円（対前年度比：1.02）

《金額単位：億円》

	R5 補正+R6 当初 (A)	R6 補正+R7 予算案 (B)	対前年度比 (B/A)
公共事業関係費	70,528	<u>71,879</u>	<u>1.02</u>
補正予算(前年度分)	17,627	19,126	1.08
当初予算	52,901	52,753	1.00

3. 事業別の状況（国費）（前年度補正予算を加算）

(1) 道路事業 2兆5, 594億円（対前年度比：1.00）

《金額単位：億円》

	R5 補正+R6 当初 (A)	R6 補正+R7 予算案 (B)	対前年度比 (B/A)
道路事業	25,513	<u>25,594</u>	<u>1.00</u>
補正予算(前年度分)	4,330	4,405	1.02
当初予算	21,183	21,189	1.00

(2) 治水事業 1兆1, 782億円（対前年度比：1.02）

《金額単位：億円》

	R5 補正+R6 当初 (A)	R6 補正+R7 予算案 (B)	対前年度比 (B/A)
治水事業	11,594	<u>11,782</u>	<u>1.02</u>
補正予算(前年度分)	3,072	3,182	1.04
当初予算	8,522	8,600	1.01

(3) 港湾事業 3, 385億円（対前年度比：1.00）

《金額単位：億円》

	R5 補正+R6 当初 (A)	R6 補正+R7 予算案 (B)	対前年度比 (B/A)
港湾事業	3,373	<u>3,385</u>	<u>1.00</u>
補正予算(前年度分)	924	929	1.01
当初予算	2,449	2,456	1.00

(4) 空港事業 396億円（対前年度比：1.28）

《金額単位：億円》

	R5 補正+R6 当初 (A)	R6 補正+R7 予算案 (B)	対前年度比 (B/A)
空港事業	309	<u>396</u>	<u>1.28</u>
補正予算(前年度分)		0.3	皆増
当初予算	309	396	1.28

(5) 上下水道事業 1, 507億円 (対前年度比: 1.22)

うち下水道事業 1, 226億円 (対前年度比: 1.19)

《金額単位: 億円》

	R5 補正+R6 当初 (A)	R6 補正+R7 予算案 (B)	対前年度比 (B/A)
上下水道事業※	1,235	<u>1,507</u>	<u>1.22</u>
補正予算(前年度分)	107	124	1.15
当初予算	1,128	1,384	1.23
うち下水道事業	1,033	<u>1,226</u>	<u>1.19</u>
補正予算(前年度分)	107	109	1.01
当初予算	925	1,117	1.21

※R5 補正予算は上水道事業を含まない

(6) 社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金

社会資本整備総合交付金 5, 486億円 (対前年度比: 0.98)

防災・安全交付金 1兆1, 975億円 (対前年度比: 1.03)

合計 1兆7, 461億円 (対前年度比: 1.01)

《金額単位: 億円》

	R5 補正+R6 当初 (A)	R6 補正+R7 予算案 (B)	対前年度比 (B/A)
社会資本整備総合交付金	5,606	<u>5,486</u>	<u>0.98</u>
補正予算(前年度分)	542	612	1.13
当初予算	5,065	4,874	0.96
防災・安全交付金	11,660	<u>11,975</u>	<u>1.03</u>
補正予算(前年度分)	2,954	3,506	1.19
当初予算	8,707	8,470	0.97
交付金計	17,267	<u>17,461</u>	<u>1.01</u>
補正予算(前年度分)	3,495	4,118	1.18
当初予算	13,771	13,344	0.97

令和6年度補正予算 国土交通省関係予算の配分について

1. 国の配分方針

- ・「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」(令和6年11月22日閣議決定)に基づいて、
 - I. 日本経済・地方経済の成長 ～全ての世代の現在・将来の賃金・所得を増やす～
 - II. 物価高の克服 ～誰一人取り残されない成長型経済への移行に道筋をつける～
 - III. 国民の安心・安全の確保 ～成長型経済への移行の礎を築く～
 の三つの柱について、所要の経費を計上。
- ・また、公共事業の効率的な執行のため、いわゆる「ゼロ国債」を設定
- ・これらの配分に当たっては、地域の実情や地方公共団体の要望等を勘案しつつ、高い緊急性と効果が認められる事業に重点をおく

2. 直轄事業の配分状況

1) 道路事業

- ・県全体の配分額 53.10 億円
- ・山陰道の配分額 44.33 億円

(事業費)

箇所名	R5 補正 内示① (百万円)	R6 当初 内示② (百万円)	R6 補正 内示③ (百万円)	対前年比 (③/①)
改築 (山陰道関連)	4,104	20,326	4,433	1.08
出雲・湖陵道路	1,060	3,876	-	-
湖陵・多伎道路	350	3,545	-	-
大田・静間道路	-	152	-	-
静間・仁摩道路	-	149	-	-
福光・浅利道路	854	2,583	856	1.00
三隅・益田道路	1,110	9,560	3,218	2.90
益田道路 (久城～高津)	100	129	35	0.35
益田・田万川道路	210	79	204	0.97
益田西道路	420	253	120	0.29
改築 (その他)	134	491	264	1.97
出雲バイパス (神立～中野東)	134	109	264	1.97
三刀屋拡幅	-	382	-	-
交通安全	365	1,431	483	1.32
電線共同溝	-	440	130	皆増
合計	4,603	22,688	5,310	1.15

- ・公共事業の効率的な執行のため、「ゼロ国債」（当該年度の支出はゼロであるが、年度内に契約発注が可能）が三隅・益田道路に 13.40 億円設定された。

【ゼロ国債】

(事業費)

箇所名	R5 補正内示 (百万円)	R6 補正内示 (百万円)	対前年比 (R6/R5)
三隅・益田道路	450	<u>1,340</u>	2.98
中国横断自動車道尾道松江線 交通安全対策	120	-	皆減
合計	570	1,340	2.35

2) 河川事業

- ・県全体の配分額 74.51 億円
- ・斐伊川改修は、神戸川沈下対策及び大橋川築堤護岸など整備促進に 64.46 億円が配分された。
- ・江の川（下流）改修は、築堤護岸など整備促進に 4.60 億円が配分された。

(事業費)

事業区分	箇所名	R5 補正 内示① (百万円)	R6 当初 内示② (百万円)	R6 補正 内示③ (百万円)	対前年比 (③/①)
一般河川改修事業		6,216	4,018	7,032	1.13
	斐伊川	5,428	1,857	<u>6,446</u>	1.19
	江の川(下流)	498	2,030	<u>460</u>	0.92
	高津川	290	131	126	0.43
河川工作物関連応急対策事業		69	324	118	1.71
	斐伊川	-	164	-	-
	江の川(下流)	61	140	80	1.31
	高津川	8	20	38	4.75
総合水系環境整備事業		200	505	301	1.51
	斐伊川	180	446	237	1.32
	高津川	20	59	64	3.20
合計		6,485	4,847	<u>7,451</u>	1.15

※斐伊川総合水系環境整備事業の事業費は、鳥取県分を含む。

- ・公共事業の効率的な執行のため、「ゼロ国債」（当該年度の支出はゼロであるが、年度内に契約発注が可能）が斐伊川一般河川改修事業に 2.00 億円設定された。

【ゼロ国債】

(事業費)

事業区分	箇所名	R5 補正内示 (百万円)	R6 補正内示 (百万円)	対前年比 (R6/R5)
総合水系環境整備事業	斐伊川	50	-	皆減
一般河川改修事業	斐伊川	-	<u>200</u>	皆増

3) 港湾事業

- ・浜田港全体の配分額 1.10 億円
- ・岸壁の老朽化対策に 1.10 億円が配分された。

(事業費)

事業区分	箇所名	R5 補正 内示① (百万円)	R6 当初 内示② (百万円)	R6 補正 内示③ (百万円)	対前年比 (③/①)
港湾改修費	浜田港 福井地区 防波堤 (新北)	336	164	-	-
	浜田港 福井地区 岸壁改良 (老朽化対策)	-	700	110	皆増
合 計		336	864	110	0.33

4) 空港事業

- ・公共事業の効率的な執行のため、「ゼロ国債」(当該年度の支出はゼロであるが、年度内に契約発注が可能)が出雲空港に 0.34 億円設定された。

【ゼロ国債】

(事業費)

箇所名	R5 補正内示 (百万円)	R6 補正内示 (百万円)	対前年比 (R6/R5)
出雲空港 無線施設整備	-	34	皆増
合 計	-	34	皆増

3. 補助事業の配分状況

(1) 道路局・都市局所管分

1) 一般国道改築事業

- ・境港出雲道路の一部となる松江北道路に 3.00 億円が配分された。

(事業費)

事業名	R5 補正 内示① (百万円)	R6 当初 内示② (百万円)	R6 補正 内示③ (百万円)	対前年比 (③/①)
国道 4 3 1 号 松江北道路	322	465	300	0.93

2) 交通安全対策 (通学路緊急対策) 事業

- ・通学路の安全を確保する交通安全対策事業について、6.47 億円が配分された。

(事業費)

事業名	R5 補正 内示① (百万円)	R6 当初 内示② (百万円)	R6 補正 内示③ (百万円)	対前年比 (③/①)
交通安全対策 (通学路緊急対策) 事業	1,157	2,068	647	0.56

3) 無電柱化推進計画事業

- 道路の防災性能の向上、通行空間の安全性・快適性の確保、良好な景観形成等を目的とした無電柱化推進計画事業について、0.96億円が配分された。

(事業費)

事業名	R5 補正 内示① (百万円)	R6 当初 内示② (百万円)	R6 補正 内示③ (百万円)	対前年比 (③/①)
島根県無電柱化推進計画事業	61	128	<u>96</u>	1.57

4) 道路メンテナンス事業

- 道路施設の老朽化対策として実施する橋梁等の修繕について、6.82億円が配分された。

(事業費)

事業名	R5 補正 内示① (百万円)	R6 当初 内示② (百万円)	R6 補正 内示③ (百万円)	対前年比 (③/①)
橋梁長寿命化修繕計画	504	1,928	350	0.69
トンネル長寿命化修繕計画	113	55	146	1.29
道路附属物等長寿命化修繕計画	164	38	186	1.13
合計	781	2,021	<u>682</u>	0.87

5) 土砂災害対策道路事業

- 道路の土砂災害対策（落石対策）について、4.40億円が配分された。

(事業費)

事業名	R5 補正 内示① (百万円)	R6 当初 内示② (百万円)	R6 補正 内示③ (百万円)	対前年比 (③/①)
土砂災害対策道路事業	222	496	<u>440</u>	1.98

(2) 水管理・国土保全局所管分

1) ダム事業

- 補助事業として実施している矢原川ダムについて、8.33億円が配分された。

(事業費)

事業名	R5 補正 内示① (百万円)	R6 当初 内示② (百万円)	R6 補正 内示③ (百万円)	対前年比 (③/①)
矢原川ダム建設事業	300	560	<u>833</u>	2.78

2) 大規模特定河川事業

- ・頻発・激甚化する災害への対応として、これまで以上に計画的・集中的な事前防災対策を実施するため、湯谷川外3河川に対し、4.56億円が配分された。

(事業費)

河川名	R5 補正 内示① (百万円)	R6 当初 内示② (百万円)	R6 補正 内示③ (百万円)	対前年比 (③/①)
湯谷川	60	344	250	4.17
赤川、塩冶赤川	350	346	46	0.13
中川	190	60	144	0.76
玉川	100	116	16	0.16
合計	700	866	<u>456</u>	0.65

3) 砂防事業（特定土砂災害対策推進事業）

- ・頻発・激甚化する土砂災害への対応として、計画的・集中的に事前防災対策を推進するため、事業間連携砂防等事業に5.37億円、まちづくり連携砂防等事業に0.45億円が配分された。

(事業費)

事業名	R5 補正 内示① (百万円)	R6 当初 内示② (百万円)	R6 補正 内示③ (百万円)	対前年比 (③/①)
事業間連携砂防等事業	543	747	<u>537</u>	0.99
まちづくり連携砂防等事業	-	155	<u>45</u>	皆増
合計	543	902	582	1.07

4) 河川メンテナンス事業等

- ・河川、ダム、砂防、海岸メンテナンス事業について、10.35億円が配分された。

(事業費)

事業名	R5 補正 内示① (百万円)	R6 当初 内示② (百万円)	R6 補正 内示③ (百万円)	対前年比 (③/①)
河川メンテナンス事業	90	138	130	1.44
ダムメンテナンス事業	259	150	201	0.78
砂防メンテナンス事業	524	80	646	1.23
海岸メンテナンス事業	120	20	58	0.48
合計	993	388	<u>1,035</u>	1.04

(3) 港湾局・航空局所管分

1) 湾及び海岸メンテナンス事業

- ・港湾維持管理計画書及び海岸長寿命化計画に基づき老朽化対策を実施するため、1.73億円が配分された。

(事業費)

事業名	R5 補正 内示① (百万円)	R6 当初 内示② (百万円)	R6 補正 内示③ (百万円)	対前年比 (③/①)
港湾メンテナンス事業	132	16	123	0.93
海岸メンテナンス事業	56	100	50	0.89
合計	188	116	<u>173</u>	0.92

4. 社会資本総合整備事業の配分状況

・社会資本整備総合交付金と防災・安全交付金の合計額 76.58 億円

(国費)

事業名	R5 補正 内示① (百万円)	R6 当初 内示② (百万円)	R6 補正 内示③ (百万円)	対前年比 (③/①)
社会資本整備総合交付金【国土強靱化分】	1,511	-	1,220	0.81
道路事業	1,511	-	1,220	0.81
社会資本整備総合交付金【通常分】	234	5,635	646	2.76
道路事業	234	2,561	646	2.76
都市計画事業	-	271	-	-
下水道事業	-	2,121	-	-
建築事業	-	683	-	-
防災・安全交付金【国土強靱化分】	5,035	-	5,683	1.13
道路事業	2,214	-	2,842	1.28
河川事業	1,653	-	1,740	1.05
砂防事業	776	-	733	0.94
港湾事業	160	-	225	1.41
都市計画事業	39	-	29	0.73
下水道事業	193	-	115	0.60
防災・安全交付金【通常分】	-	12,295	109	皆増
道路事業	-	8,897	109	皆増
河川事業	-	396	-	-
砂防事業	-	867	-	-
港湾事業	-	225	-	-
都市計画事業	-	341	-	-
下水道事業	-	1,170	-	-
建築事業	-	399	-	-
合 計	6,781	17,930	7,658	1.13
道路事業	3,959	11,458	4,816	1.22
河川事業	1,653	396	1,740	1.05
砂防事業	776	867	733	0.94
港湾事業	160	225	225	1.41
都市計画事業	39	612	29	0.73
下水道事業	193	3,291	115	0.60
建築事業	-	1,082	-	-

※上記には市町村分も含んでいる。

※四捨五入の関係で表中の計数が一致しないところがある。

県道 大社日御碕線の道路崩落に係る本復旧の見通しについて

- ・ 令和 6 年 7 月 9 日(火)の大雨により発生した道路崩落への対応については、段階的な仮設迂回道路の整備を行い、12月24日(火)より大型車両を含む全ての一般車両の通行が可能となっている。
- ・ 本復旧については、12月27日(金)に国の事業採択を受けたところであり、令和 8 年度中の完成を目指し工事を進める。(令和 7 年 1 月 8 日報道発表済)

1. 本復旧工事の概要

- 別図「復旧工法概要」、「復旧工法横断図」のとおり、崩落した現道を復旧する。
 - ・ 工事費 : 301,390 千円 (うち国負担 : 201,027 千円、補助率 2/3)
 - ・ 工事内容 : 垂直擁壁、盛土、舗装
法面保護 (法枠、鉄筋挿入、植生)

2. 今後の対応

- 工事着手までの流れ
用地調査→用地取得→工事入札→受注者決定→工事着手
- 本復旧の進捗状況等の周知
 - ・ 段階ごとに瓦版を作成し、日御碕地区住民へ配布
 - ・ 出雲県土整備事務所のホームページ等により広く周知を行う。



図. 復旧工法概要

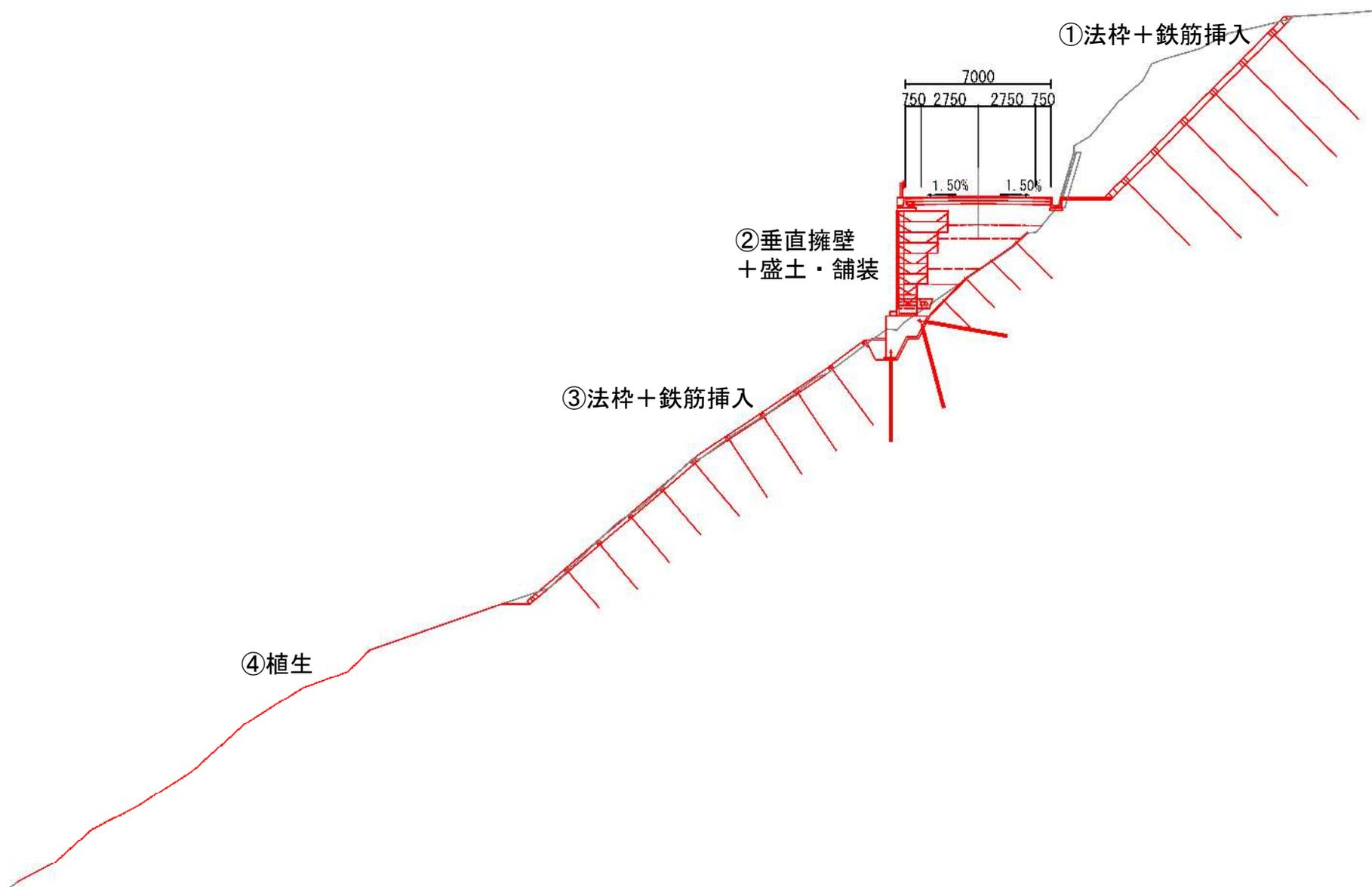


図. 復旧工法横断図

山陰道 出雲～多伎間(出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路)の開通について

国土交通省より、山陰道 出雲～多伎間(出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路)の開通日と新インターチェンジ(IC)名称について公表されました。

1. 公表内容

- 開通区間：出雲 IC (出雲市知井宮町)
～出雲多伎 IC (出雲市多伎町久村)
出雲・湖陵道路 延長 4.4km
湖陵・多伎道路 延長 4.5km 合計 8.9km
- 開通日：令和7年3月2日(日)
- 新インターチェンジ(IC)名称：出雲湖陵インターチェンジ

参考：これまで使用していたインターチェンジ名称は「(仮称)湖陵IC」



2. 参考

- 開通率について
県内の山陰道 計画延長 約197kmのうち、今回の開通で開通延長は142.7kmから151.6kmとなり、開通率は現在の72%から77%に上昇